



## 目次

病診連携施設紹介「山田ハートクリニック ご挨拶」…1	
看護部だより ……………2	
栄養相談室 ……………3	
医療安全管理室 ……………4	
ア・ラ・カルト「運動器の10年」……………5	
お知らせ「人事異動」……………6	
患者数 ……………6	
外来医師担当表・特殊外来ご案内 ……………7	

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会  
発行責任者：長沼博文  
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
電話：055-253-6131  
ファックス：055-251-5597  
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>  
Eメール：[kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)  
携帯サイト用QRコード



「秋の昇仙峡」

JR甲府駅から車で約20分、そこに、日本一の渓谷美と謳われる「昇仙峡」があります。四季それぞれに素晴らしい渓谷美を見せる昇仙峡ですが、特に秋の紅葉の季節は格別のものがあります。

左上：昇仙峡の主峰・覚円峰（かくえんぼう） 左下：壮麗な仙娥滝（せんがたき） 右上：渓谷を彩る紅葉 右下：全国観光地百選、渓谷の部第一位に選ばれた渓谷美

（参考：昇仙峡観光協会HP <http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/b/>）（写真：医事専門職 鈴木 強 文：管理課庶務係 山田 昌弘）



## 独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

### 1 基本姿勢

患者さんの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

### 1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様に還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

### 1 患者さんの権利

患者さんの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

### 1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

### 1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

# 病 診 連 携 施 設 紹 介

## 「山田ハートクリニック ご挨拶」

山田ハートクリニック

院長 山田 明雄

2008年4月、甲府市北新町に山田ハートクリニックを独立開業させていただき、早くも1年半が経ちました。

私は1985年自治医科大学卒業後、山梨県立中央病院、自治医科大学および東京女子医科大学循環器内科で心臓カテーテル、冠動脈インターベンションを中心に循環器病学を学んできました。1995年、社会保険山梨病院循環器科に赴任し、冠動脈インターベンションを中心に循環器疾患の診療を行ってきました。

勤務医時代に痛感した事ですが、循環器専門医が冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術を膨大な数行っているにもかかわらず、本邦の急性心筋梗塞患者の発生数と死亡者数はなかなか減少していません。原因は何なのでしょう？ 経験的に言えることは、ほとんどの患者さんたちが、高血圧、高脂血症、糖尿病、メタボリックシンドローム等を抱えながら、発症前に医師による適切な治療を受けていない方々だという事実です。

心筋梗塞発症を減少させるために大切なのは、冠動脈インターベンションの専門医ではなく、地域の家庭医によるこれら冠動脈リスクの地道な管理であるにもかかわらず、治療目標の到達には未だ長い道のりであると言わざるを得ません。昨年4月から開始された特定検診、特定保健指導もこのような問題に対する国の（国民医療費の減少が目的であるにせよ）中長期的施策なのですが……。

入院によって冠動脈インターベンションなど高度先進医療を受ける期間は、実はその患者さんの長い病歴の中のごく一部に過ぎません。日常は地域の家庭医に冠動脈リスクを管理してもらい、病状に変化のあった時には円滑に循環器専門医の診療を受けられる病診連携体制が患者さんにとって最も大事なのです。

私は山田ハートクリニックを地盤として、循環器疾患の患者さんのためのより良い病診連携体制の構築を模索したいと考えています。この実現のため私のクリニックは県内の循環器専門施設との間で円滑な患者さんの行き来が出来るようにすると同時に、地域診療所の先生方と診療所間の連携を強化できるように努力しております。狭心症、心筋梗塞を発症する10年、20年前の冠動脈疾患のリスク管理を積極的に行い、冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術後の患者さんのマネージメントもきちんと行ってまいります。

皆様の御指導、御援助を相変わらずお願いいたします。



スタッフ

### 山田ハートクリニック

甲府市北新1-1-20

電話 (055) 267-8700

#### <診療科目>

循環器内科・内科

○健康診査

○生活習慣病検診

○生活習慣病予防指導

○各種健康相談

#### <診療時間>

午前8:30~12:00 午後2:30~5:30

◆休診日/水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

# 看護部だより

副看護部長 白川 由起子

8月発行の「てんじん」では、適切な療養環境の提供に関する看護部の取り組みとして「挨拶と身だしなみ」について紹介させて頂きました。

今回は、10月からの取り組みを紹介させて頂きます。

10月からは具体的な言葉遣いや対応についての取り組みをしております。病院は、職員が患者さん・家族の方々と診療・療養を通して関わる場です。病院に来られる患者さん・家族の方々にどのような対応を心がけたいのか、職員の意見を聞いて以下の2つの内容と致しました。

## 1. 「患者さん、ご家族の方に安心を ー届けようあなたの笑顔その優しさ 笑顔でつなぐ看護の手ー」

この標語は看護師からの意見で作成しました。患者さん・家族の方々の身近にいる看護師として安心な医療・看護を提供したい。自身の笑顔と優しい手から看護を伝えたいとの思いです。

## 2. 「真心と笑顔が作る 患者さんの満足」

この標語は、コメディカルからの意見で作成しました。検査・治療・その他様々な場面で患者さん・家族の方々と関わる職員も真心と笑顔で患者さんの満足に繋がるような対応をしたいとの思いです。

各職場にポスターを掲示し、朝のミーティング時に職員全員で唱和を行っています。

スタッフ1人ひとりが標語を意識し、笑顔で看護を行うように努めています。また院内で困っている方を見かけた場合には、声をかけ、職員1人ひとりが患者さんや家族の方に安心を届けられるように心がけています。



取り組みに関するご意見や、感想などがございましたらお聞かせ頂きたいと思っております。これからも皆様に満足して頂ける病院であるために看護部として努力していきたいと考えております。

## 便秘・下痢のときの食事

## 便秘とは？

排便の習慣は個人差が大きいので、どの程度で「便秘」となるか明確には決まっていますが、一般的には数日以上排便がなく腹部膨満感や腹痛など、日常生活に支障がある場合をいいます。

## 弛緩性便秘

腸の周りの筋肉が緩み、腸の動きが弱くなって、便の押し出しが悪くなった状態です。

## 痙攣性便秘

自律神経の乱れなどにより、腸管自体の収縮が強くなって便が出にくくなった状態です。コロコロとした固い便になります。

## その他

便意を我慢することが習慣になって起こる便秘、腸が狭くなって起こる便秘、妊娠や腹部の腫瘍などで腸が圧迫されて起こる便秘があります。

## 放っておくと

たかが便秘、されど便秘。放置していると、腸内で有害物質が発生し、肌荒れや頭痛、大腸がんを引き起こすとみられています。また、肛門に負担がかかり、痔になりやすくなります。

## 治療の方法は

原因となる疾患がある場合はその治療を優先します。そして生活改善と食事による治療をおこないます。

## 便秘！腸の調子を整える食事をしましょう

## ポイント1 規則正しく食べましょう

まず毎日の食事から。朝食はとっていますか？お菓子や、ちょっとつまむものだけで済ませたりせず、3食きちんと食べるようにしましょう。

## ポイント2 水分をじゅうぶんとりましょう

水分をじゅうぶんにとると便の量が増え、排便がスムーズになります。お茶やお水の他に、食事の中にもスープや汁気の多いおかずを組み込んでみましょう。

## ポイント3 食物繊維のとり方

食物繊維は水分を吸収して便の量を増し、排便をスムーズにします。また、水溶性の食物繊維（果物、海そう、こんにゃく、植物の種子など）は便をやわらかくし、不溶性の繊維（穀類、豆類、野菜、ごぼう、きのこなど）は腸を刺激し排便を促します。そのため、痙攣性の便秘の場合は、不溶性の繊維は刺激になるのでひかえめに。

## ★しつかり食物繊維をとるためのコツは？

食物繊維は1日20～25gくらいを目安にとりたいもの。食物繊維の種類は多いのでいろいろな食品からとれると理想的です。不溶性食物繊維を多く含む

根菜類（ごぼう、はす、にんじんなど）や芋、豆類のおかずを毎日1回、水溶性の食物繊維を多く含む果物や海そうなども1日に1回以上は食べるようにしましょう。果物も料理やデザートに利用するとよいでしょう。

## ポイント4 腸を刺激しやすい食品

～弛緩性便秘には積極的に、痙攣性便秘にはひかえめに～  
食品から発生したガス、食品に含まれる酸、善玉腸内細菌の産生した有機酸などが、腸管を刺激して腸の動きを活発にします。痙攣性の便秘では刺激を避け、便のかさを増やして排便をスムーズにすることが大切です。

（果物、牛乳、乳製品、芋、豆類、酸味のある食品、香辛料、アルコール、油脂類など）

## ★腸管に刺激を与えるおかずとは？

主菜には、こしょう、カレー粉、唐辛子、しょうが、にんにくなど香辛料を効かせて調理してみましょう。また、冷たくした野菜や芋のポタージュなども腸管を刺激するのによいでしょう。

# 医療安全管理室より

## 医療安全推進週間の取り組み

医療安全管理係長 中田 寛子

当院では、11月16日～29日を医療安全推進週間として標語を掲げ、医療安全の取り組みを行っています。

標語 **<再確認 大きな声で 指差呼称>**

期間中の取り組みについては、部署毎に計画を立て、採血時の患者さんの確認やレントゲン撮影時等の検査依頼内容の確認、点滴・注射・内服準備や投与時の指差呼称等を実践しております。

この期間中に、患者さんへの影響が大きい薬剤について、薬剤科のリスクマネージャーが講師となり研修を行いました。病院内では、抗癌剤や抗痙攣剤、糖尿病薬など投与量・投与間隔・薬の作用により患者さんに大きな影響を及ぼす薬剤を取り扱っております。これら特に注意を要する薬剤について、一般に公表されている事故事例を交えながら薬剤の作用と取り扱い時の注意など薬剤に対する知識の再確認を行いました。また、病院内には外観が類似している薬剤が種々存在しています。実際に類似例を提示してもらうことで、薬剤を取り扱う時は、外観に惑わされず、薬剤名称を確認する事の必要性を考えてもらう機会とすることが出来ました。



### 抗生物質

ユナシン S 1.5g	パセトクール 1g	ペントシリン 2g	ラセナゾリン 1g	バンコマイシン 0.5g

## アラカルト



## 「運動器の10年—オーストラリア大陸障害者自転車横断」

整形外科医師 渡邊 義孝



今回私は、運動器の10年（2000年から2010年）世界運動キャンペーンの第四弾オーストラリア大陸障害者自転車横断に参加しました。このキャンペーンの目的は、運動器の大切さを世界中の人にアピールすることです。私は全行程の5区間のうち第2区間の伴走医師として参加しました。

8月29日に日本を立ち、8月30日朝オーストラリアのカルゲーリーという、人口3万人の古い炭鉱の町に到着し本隊と合流しました。途中の飛行機から見るオーストラリア大陸は、見渡す限り平地が続いており、これから始まる冒険の大変さを予感しました。8月31日カルゲーリーの町を出発し、いよいよ1400km

という道のりを自転車で走り続ける日々が始まりました。

一緒に走るの、山梨県出身の冒険家、風間深志さんを隊長とした、右下肢切断のテツ（38歳）、頸髄損傷で左半身に痙性麻痺が残るマサ（46歳）、紅一点で左膝人工関節のサキ（25歳）というメンバーでした。出発してまず驚いたのが、テツの走りでした。左足一本でペダルを漕ぎ、他のメンバーよりも速いスピードで走行し、ペースの落ちたメンバーをあおるほどでした。

町を出て1時間もすると、すでに果てしなく地平線まで続く直線道路を走っており、名もない道路にすら衝撃を受けました。体力に自信のあった私も、毎日100km以上を走行することは初めての経験でした。走行スピードはそれほど速くなかったものの、始めのうちは少し疲労が残りました。

自転車に乗り始めて3日目の9月2日、日本では殆ど知られていませんが、オーストラリア横断をする上で、一番の難所といわれるナラボー平原に突入しました。難所といわれる所以は、ただひたすらに平原が続き、所々にロードハウスがあるだけの一般道路（制限速度110km/h）が1200kmも延々と続くことからでした。

したがって毎日が大自然の中の一本道を、次の宿泊地までただひたすら移動する日々でした。期待していたカンガルーにはほとんど会えず、出発後10日目ぐらいでようやくピョンピョン跳ねるカンガルーの群れを遠くに見ました。これだけ毎日毎日長距離を走行していると、風間隊長をはじめ、みんな日に日に体力がついてきて、一日の走行距離がどんどん伸びていきました。

ナラボー平原をはじめ、オーストラリアでは、救急体制の整った病院まで長距離であるため、陸路での搬送は実用的ではありません。そのため救急体制として、フライングドクターというシステムがあります。これは飛行機でドクターが駆けつけ搬送するというシステムであり、ナラボー平原では、道が所々で飛行機の緊急発着場になっておりました。

広大な大自然の中で、現代日本とかけ離れ、道や宿泊地以外の文化的な物のない生活が約2週間毎日続きました。こうなるとさすがに日本が恋しくなると同時に、ゴールに近づくにつれ、あと少しでこの貴重な時間が終わってしまうのかという寂しさがありました。

やっとの思いでナラボー平原を抜け出し、最後に到着したのは人口3000人のセデューナという小さな港町でした。文化的な町にたどり着いた喜びとともに、自分の担当した第2区間で、大きな事故もなく任務を終えられた安堵感がありました。

このオーストラリア横断での思い出は書面では到底語りつくせないことばかりです。見渡す限りの地平線や、南氷洋に面した断崖絶壁の海岸線、冷たく澄んだ海で震えながら泳いだこと等等など沢山あります。その中でもちょっとした段差などでつまづいたりするメンバー達が、長く辛い行程でも自転車に生き生きと乗り、汗をかいている姿がとても印象的でした。おのおのが常日頃から残された機能を鍛え、健康人以上の活動性を持っていることに大変感心しました。

私は、今回の医療ボランティアに参加したことで、患者さんと同じ目線でともに過ごすことが出来ました。治療を受け持つものとして最善の治療を常に提供することの大切さを実感しました。個々の患者さんにあった適切な治療をし、出来る限り健康に近い状態に戻すことで、患者さんのQOL（生活の質）を高め、その後の生活をより充実したものにするのにはないかと思いました。

今回の貴重な経験を生かし、これからも患者さんの気持ちを大切にしながら、一緒に最適な治療が行えるよう尽力していきたいと思っております。



## お知らせ

## 新任・転任者ごあいさつ



手術部長 山口 敏昭

11月より赴任いたしました、麻酔科の山口敏昭と申します。前任地は山梨大学で、周術期の麻酔管理およびペインクリニック外来に十数年携わってきました。今回縁あって、こちらにお世話になることになりました。幼少のころは北新に住んでいたためこの地域は懐かしく、時々散策しては「また戻ってきたんだな」といろいろ思い出しています。

麻酔に関しては、新しい鎮痛薬や静脈麻酔薬が臨床使用されるようになり、より安全により快適な周術期管理ができるようになってきています。患者さんにも安心して手術を受けられるようがんばっていきたく思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



消化器科医長 澤田 威生

11月国立甲府病院に勤務することとなりました消化器内科医師です。肝、胆道、膵疾患を専門で下記の治療を主に行っています。

- 1 ウイルス性肝炎、肝硬変、肝疾患に対する治療
- 2 肝がん・転移性肝癌に対するラジオ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法
- 3 膵、胆道がんのステントを組み合わせた化学療法
- 4 胆道及び膵結石の内視鏡的治療

消化管疾患については苦痛のない検査、診断、治療を心がけています。



経営企画係長 渡辺 隆治

10月1日付で、まつもと医療センターより赴任いたしました渡辺と申します。山梨といえば武田信玄公にゆかりのあるスポットが多いので、これを機会に訪れてみたいと考えています。

自分にとって新天地である甲府病院は、建物が新しく、その環境にふさわしくリフレッシュした気持ちで、精一杯に頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

## 平成21年度一日平均患者数

## 入院

※11月分及び年間累計は11月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		91.9	75.2	90.2	81.2	81.4	86.9	81.0	83.0					84.2
重心		120.2	120.1	121.3	120.5	119.5	119.8	119.0	120.2					120.3
計		212.1	195.3	211.4	201.7	200.9	206.7	200.0	203.1					204.5

## 外来

※11月分及び年間累計は11月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	245.8	271.6	246.8	260.6	253.4	269.8	264.6	278.4					260.8

# 外来医師担当表

平成21年12月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	1	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊
	2	黒澤	黒澤	黒澤	呼吸器科 菱山	黒澤
	3		循環器科 佐野		中尾	川口
	4					
脳神経外科		長沼	長沼		長沼	長沼
特殊外来 午後3時～			渡邊			
消化器科	1	稲岡	稲岡	要10時30分付 大塚		
	2		澤田	澤田		澤田
小児科	1	内田	神谷・畑	中村・海野	内田	久富
	専門外来 (午後)	畑	中村	神谷	海野	内田
	摂食外来 (午後)				第3週 小野	
外科	1	鈴木	角田	牧	鈴木	角田
	2				乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩野	渡邊	渡邊	萩野	萩野
	2	千賀	落合	落合	落合	千賀
	3					
泌尿器科		野澤	予約のみ 10時迄 野澤	野澤	野澤	野澤
産婦人科	1	滝澤	雨宮	滝澤	雨宮	高木
	2	雨宮	高木	原	高木	滝澤
	3		原			原
眼科		予約のみ 地場	地場	地場		地場
耳鼻咽喉科					矢崎	

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)

- 乳児健診 毎週 火・木曜日(完全予約制)
- 予防接種(小児科) 第二・第四金曜日(完全予約制)
- 人間ドック 毎週 火・木曜日
- 脳ドック 毎週 月・火曜日
- 毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

## 特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。肝機能が低下したと感じたら、受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知かなと思ったら、受診されることをお勧めします。

## 看護職員募集 随時行って おります

当院ホームページより「受験願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



### 宛先および照会先

〒400-8533  
山梨県甲府市天神町11番35号  
国立病院機構甲府病院  
管理課 人事係  
電話 055-253-6131(代表)